

子ども俳句だより



平成28年度 野外活動特別号 井口台小学校校長室

5年生は、9月6, 7, 8日に広島市野外活動センターに2泊3日で野外活動に行ってきました。友だちと力を合わせて活動した中で、たくさんの思い出ができました。その時に感じたこと、心に残ったことを俳句に表しました。すてきな俳句がたくさんできましたので紹介します。

【今月の大賞】

「あと少し手が届きそうあの星に」

5年 岡村太晴

野外活動センターの夜空では井口台で見るよりもずっとたくさんの星が見えますね。手をのぼすと届きそうなくらい近くに感じたのが「あと少し」という表現でよくわかりますね。



【入選】

「山登り声かけいっぱいよかったよ」 5年 佐々木梨乃

友だちとお互いに声をかけながら登った牛頭山。笑顔や笑い声がたくさん聞こえてきそうな句です。

「うっすらと朝ぎりの中日がのぼる」 5年 相良真咲

朝霧の中を太陽がのぼる様子はきれいでしょうね。山の中でしか味わえない風景ですね。

「朝霧でぼんやりうつる人のかげ」 5年 山崎陽向

朝霧の中を歩いている人の影が見えるのは、日頃は経験できませんね。

「火の粉ちるキャンプファイヤー熱くなる」 5年 永井真義

キャンプファイヤーの周りで、思いっきり歌ったり踊ったりしましたね。

「ファイヤーの燃える火赤く心の火」 5年 松下菜々

ファイヤーの火が燃えると共に、心の中も熱くなりましたね。

「夕立で昼間の暑さとんでゆく」 5年 小泉晴花

急に降ってきた夕立が暑さをふきとばしてくれましたね。

「メッセージ心がこもり宝物」 5年 能澤佳那

一つ一つのメッセージに温かい思いが込められていたのですね。素敵な宝物になりましたね。

「報告会思い出あつめ発表だ」 5年 末田紗英

楽しい思い出がたくさんできた野外活動になりました。友だちと協力してしっかり発表できましたね。



